

気候変動を踏まえた浸水対策検討部会の活動報告

1 概要

「気候変動を踏まえた浸水対策検討部会」では、新たな浸水対策プランを策定するにあたり、浸水対策の目標、整備優先度の考え方など、プランの骨格となる論点を審議しています。

2 委員構成

部会長：森田 弘昭氏（日本大学生産工学部土木工学科 教授）

委員：加藤 裕之氏（東京大学大学院 工学系研究科特任准教授）

専門委員：石川 永子氏（横浜市立大学国際教養学部 都市学系 准教授）

3 検討部会の審議状況

これまでに3回の審議を行いました。

	日程	主な審議事項
第1回検討部会	令和5年6月5日	浸水対策の目標 ●防災目標（浸水を防ぐ目標）の設定 <u>気候変動の影響を踏まえ、施設整備の対象とする降雨（目標整備水準）を1.1倍に強化</u> ➢ 自然排水区域：47.2 mm/hr⇒51.9 mm/hr、 ➢ ポンプ排水区域：57.9 mm/hr⇒63.7 mm/hr、 ➢ 特別地区（横浜駅周辺地区）：74.2 mm/hr⇒81.6 mm/hr ●減災目標の設定 <u>甚大な被害を防ぐ目標：100 mm/hr、床上浸水の概ね防止 命を守る目標：153 mm/hr、安全な避難の確保</u>
第2回検討部会	令和5年7月5日	整備優先度の考え方 ●浸水が発生した地区に加え、浸水リスクが高い地区から施設を整備 ●浸水リスク（浸水想定と浸水の影響度）の評価
第3回検討部会	令和5年8月24日	整備優先度の考え方 ●浸水想定及び浸水の影響度の評価
【予定】 第4回検討部会	令和5年11月予定	浸水対策プラン（素案）